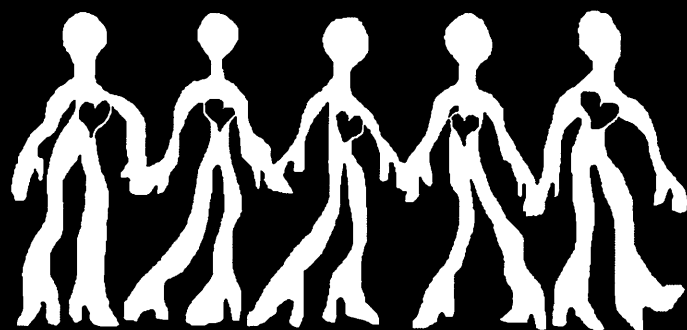


京都フィロムジカ管弦楽団 第4回定期演奏会

Kyoto Philomusica Orchestra The 4th Regular Concert



メンバーリスト

顧問：和田 之宏

団長：小林 香

コンサートマスター：永徳 丈 (モーツァルト)

井上 史 (プーランク・サン＝サーンス)

Violin

荒川 奈央子
五十嵐 満美子
井上 あゆみ
井上 史
井上 理恵
上田 松子
上村 祐典
永徳 丈
大八木 文人
小幡 拓也
小段 南人
齊藤 圭司
田村 うらら
津田 和子
津田 篤太郎
仲井 淑子
中島 円
西村 浩輔
平本 知子
堀口 真仁
宮下 康子
村山 義尚
吉野 仁子
吉本 光佐
(客演)
小久保 あおい
須山 恵理子
北方 聡子
村山 さうら
本吉 達郎
弥源治 里絵

Viola

植木 廣伸
河上 由香里
谷口 彩
中谷 祐子
長谷山 智仁
(客演)
池田 有佳
井上 拓
川島 朋子
富森 麻有
原田 久美子
藤村 崇
安井 久美子

Cello

石黒 豪
小野田 税
菊地 涼
小松 正明
榊原 佐知子
中村 郁哉
村上 直
(客演)
川島 紀慶
澤瀬 研介
高津 史子
田村 忠司

Contrabass

吉本 政弘
(客演)
井上 ゆか
永井 瞭子
野間 友世
林 久美子
吉岡 春奈
吉武 美和

Flute

酒匂 美奈子
畠山 泉
逸見 正憲
政岡 潤平
松村 朋美

Oboe

相宮 香奈子
明石 真琴
中木 明日香
野岡 千恵子

Clarinet

佐藤 郁子
武田 勝正
野田 瑠美

Bassoon

高山 泉
廣岡 美紀
(客演)
永井 華代

Contrabassoon

(客演)
新井 美奈子

Horn

芦原 俊平
木下 高好
木下 洋輔
小又 雄一郎
長岡 武志
藤原 義和

Trumpet

遠藤 啓輔
小林 香
濱田 篤
村上 明日香
渡辺 美智子

Trombone

石松 康介
川原 靖弘
坂本 倫子

Bass Trombone

(客演)
青木 美津江

Tuba

坪内 大輔

Timpani &

Percussion

(客演)
秋武 美香
大八木 亮平
武田 太蔵
丸山 尚子

Piano

(客演)
吉永 愛子

Office

伊吹 勇亮
上田 珠子
高田 志保

お詫び

今回の演奏会の宣伝印刷物において、チケット取扱先に「チケットぴあ」とありましたが、当団の事情により取り扱いを辞めさせていただきました。印刷物の大部分は修正いたしましたが、お客様ならびにチケットぴあ様にご迷惑をお掛けする事態になりましたことを深くお詫び申し上げます。

京都フィロムジカ管弦楽団 第4回定期演奏会

Kyoto Philomusica Orchestra The 4th Regular Concert

歌劇《ドン・ジョヴァンニ》序曲 KV 527
Ouvverture zur Oper "Don Giovanni" KV 527

モーツァルト
Wolfgang Amadeus Mozart

ピアノ協奏曲
Concerto Pour Piano er Orchestre

プーランク
Francis Poulenc

1. Allegretto
2. Andante con moto
3. Rondeau à la française

<< 休 憩 >>

交響曲第3番 ハ短調 作品78「オルガン付き」 サン＝サーンス
Symphonie No3 en ut mineur Op.78 (Orgue) Charles Camille Saint-Saëns

1. Adagio-Allegro Moderato
Poco Adagio
2. Allegro Moderato
Maestoso-Allegro

客演指揮：藏野雅彦
ピアニスト：大畑博貴
オルガニスト：中山幾美子

1998年11月29日(日) 14:00 開演
京都コンサートホール 大ホール

ごあいさつ

京都フィロムジカ管弦楽団顧問 和田之宏

本日ここに「京都フィロムジカ管弦楽団」定期演奏会を開催するにあたり、ご多用にも拘わらず、多数の方々のご来場をいただきまして誠にありがとうございます。

この定期演奏会も、回を重ねること第4回目となりました。

今回は、指揮者に藏野雅彦氏を、又ピアノ独奏に大畑博貴氏、そしてオルガニストに中山幾美子氏をお迎えし、先生方のご指導のもと、ますます努力と研鑽を積み重ねて参りましたが、本日はその成果を存分に披露してくれるものと期待致しております。皆様にはその努力の結実を演奏の中にお聴きいただければ幸甚に存じます。

最後になりましたが、京都フィロムジカ管弦楽団の為に、物心両面にわたるご支援を賜りました皆様方をはじめ、ご指導下さいました先生方に厚く御礼申し上げますと共に、定期演奏会のますますの発展を祈りまして、ご挨拶とさせていただきます。

新入団者募集中

ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス
オーボエ・クラリネット・ファゴット
ホルン・バストロンボーン・パーカッション
(管楽器・パーカッションは、オーディションがあります)
練習時間は、毎週日曜日午後1時～午後5時です。
連絡先：政岡 (075-982-5039)
小林 (jg3057@mail2.doshisha.ac.jp)

賛助会員募集中

フィロムジカの活動に協賛して下さる方を募集しています。

|年会費|

個人会員：1人につき ¥4,000-

ペア会員：2人で ¥7,000-

Jr. 会員：高校生以下1人で ¥2,000-

|特典|

・年2回の定期演奏会にご招待します。

・会報にて、演奏会などの情報を案内します。

興味がありましたら、

坂本 (075-406-2600)

小林 (jg3057@mail2.doshisha.ac.jp)

までお気軽にどうぞ。

楽譜協力：トヨタミュージックライブラリ

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト[1756~1791]

歌劇《ドン・ジョヴァンニ》序曲

1786年に「フィガロの結婚」で大成功を収めたモーツァルトは、1787年の夏にフィガロの結婚に続くオペラを完成させました。初演は同じ年の10月にチェコのプラハで行われ、フィガロの結婚と同様に大成功を収めました。序曲は最後まで完成しなかったそうで、初演の日の朝5時に

書き始め朝7時に楽譜係の人が訪ねてきたときにはもう書きあがっていたという伝説が残されています。

今日演奏される序曲は読んで字のごとく、オペラが始まる前に演奏されるもので、オペラの中で登場する旋律が順に登場してきます。

(約5分)

フランシス・プーランク[1899~1963]

ピアノ協奏曲

プーランクは、20世紀初頭に活躍したフランスの作曲家でR. ビニェスにピアノを、ケックランに作曲を学びました。“フランス6人組(ミヨー、オネゲル、オーリック、デュレ、タイユフェール、プーランク)”の一人として、フランス音楽の発展に大きく貢献しました。作風はサティ、ラヴェルらの影響を色濃く受けており、簡潔な古典様式とフランス風エスプリに富んだ作品を数多く残しています。今回演奏するピアノ協奏曲は1948年の秋、彼がアメリカに演奏旅行を行った際、ボストン交響楽団から委嘱されて作曲したもので、初演は1950年の1月にアメリカのボストンでボストン交響楽団によってシャルル・ミュンシュの指揮で行われました。

曲の構成は、伝統的な古典形式などにとらわれることなく、1楽章に多くの旋律が登場して、その旋律もアメリカの流行歌や歌謡曲を思わせるような軽いものが多く肩肘を張ることなく聴くことのできるような構成になっています。

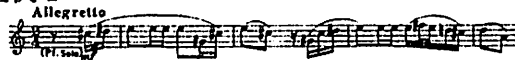
●第1楽章

Allegretto

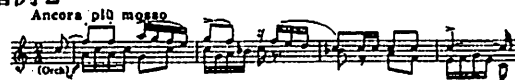
最初にピアノが第一主題(譜例1)を歌い始めます。そして、それに呼応するかのようにはオーケストラが主題の後半にあたる旋律を応答します。この旋律がピアノとオーケストラで合計4回繰り返された後、第二主題がオーケストラによって演奏されます。この後、第三主題(譜例2)、第四主題(譜例3)と続いていって、それぞれの主題が何度か繰り返されて曲が終結します。

(約10分)

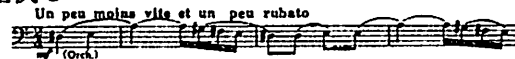
譜例1



譜例2



譜例3



●第2楽章

Andante Con Moto

非常に静かに曲が始まる。ヴァイオリンによって主要主題（譜例4）が静かに演奏された後、ヴィオラとチェロがピチカートでこれに伴奏をつける。やがて中間部に入り、譜例5で示される第一中間主題が演奏される。これがもう一度繰り返されたのち、オーケストラが第二中間主題（譜例6）を演奏する。この後、前半部と同じテンポの戻り、曲が終わる。

（約5分）

●第3楽章

Rondeau à la française

たくさんの旋律が Rond 風に自由に再帰する。譜例7～10で示されるような旋律が次々に登場してきて、終結へと向かっていく。

（約4分）

譜例4



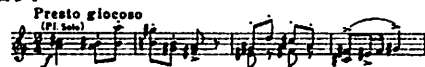
譜例5



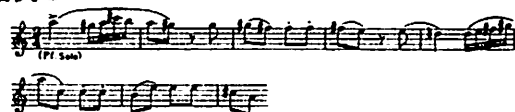
譜例6



譜例7



譜例8



譜例9



譜例10



シャルル・カミーユ・サン＝サーンス [1835～1921]

交響曲第3番ハ短調「オルガン付き」

1835年にフランスのパリで生まれたサン＝サーンスは、1921年に86歳の生涯を閉じるまで、作曲のみならず、オルガニスト、教育者としてフランス音楽界の中心的役割を果たし続けました。教育者としては、存命中に国民音楽協会を設立して、若い音楽家の育成に腐心し、その門下からは「レクイエム」等の作曲で有名なフォーレといったような優れた音楽家を多数輩出し、フランス音楽界の発展に大きく寄与しました。

作曲家としては、今回演奏する交響曲第3番「オルガン付き」の他に、「動物の謝肉祭」交響詩「死の舞踏」、歌劇「サムソンとデリラ」などが知られており、古典的な形式感の整った上品な曲から、ラテン的情熱感のあふれる曲に至るまでの幅広い曲想が、現代に至るまで高い評価を得ています。

サン＝サーンスは生涯に交響曲を5曲書いたと言われていますが、そのうち2曲は未発表で現在知られているのは3曲のみで

す。しかし、その3曲についても、今回演奏される第3番以外が演奏会で取り上げられることはほとんどありません。

この、交響曲の大きな特徴として、主題の循環法なるものを取り入れて曲を構成しているということが挙げられます。これは、曲全体を統一する一つのメロディー（譜例1）を用意して、それを様々な箇所が登場させることにより曲全体に統一性を持たせようとするもので、ほぼ同時期に作曲されたフランクの交響曲二短調や、ベルリオズの幻想交響曲などにもみられる手法です。もう一つの大きな特徴としては、表題をみて明らかなことではありますがオルガンが中心的な役割を果たしていることです。交響曲にここまで大規模にオルガンが使用されるのはもちろんこの曲が初めてであり、オルガニストとしても名声を得ていた彼の才能が遺憾なく発揮しています。

1886年にこの交響曲が初演された直後、彼が尊敬してやまなかったフランツ・リストがこの世を去りました。彼は彼の死を追悼する意味で、出版された楽譜の表紙に「フランツ・リストを追悼して(A la Mémoire de Franz Liszt)」と書き加えました。

また、この交響曲は2楽章から成り立っていますが、各楽章は2つの部分に分かれているため、実際は4楽章の交響曲と変わりありません。

●第1楽章

Adagio-Allegro moderato-Poco adagio

弦楽器による物憂い序奏に続き、前述した循環主題である第一主題が始まる。

それに引き続き、木管楽器による第二主題が始まる。この後、フルートを中心とした第一主題の変形したものの演奏を挟み、弦楽器による第三主題に入る。

以降は第一主題、第二主題を中心に曲が盛り上がってくる。途中からオルガンの和音が厳かに響きだし、曲は再び静かになり、最後は静かに曲を終える。

(約20分)

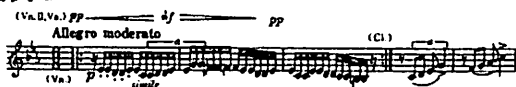
●第2楽章

Allegro moderato-Maestoso-Allegro

前半はスケルツォにあたる部分で、弦楽器が循環主題をエネルギーに演奏することで曲が始まる。しばらくこのような落ち着きのない状態が続いた後、いったん曲は静かになる。しかしそのような静けさも長続きはせず、オルガンの荘重で堂々とした大音量が響きわたり、雄大に曲は進んでいく。最後はオルガンと金管楽器との壮大なコーラルにより力強く終結に向かう。

(約15分)

譜例 1



都ホテル・新都ホテル専属

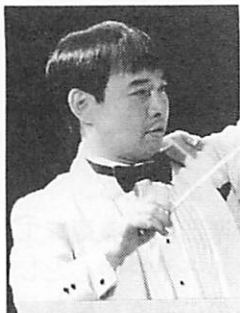
岐陽館

小林祐史写場

(駐車場有)

〒604

京都市中京区寺町通丸太町下ル
電話 (075) 231-1471
FAX (075) 231-1471



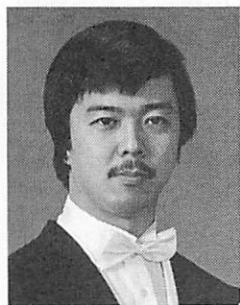
●客演指揮
藏野 雅彦

Conductor : Masahiko Kurano

京都市生まれ。京都市立堀川高等学校音楽科(現京都市立音楽高校)を経て、1979年東京芸術大学音楽学部卒業。トランペット、指揮を学ぶ。79年カラヤン指揮ベルリンフィル日本公演にトランペット奏者として参加。

89年本格的な指揮活動を開始。92年キエフ・ウクライナ・ナショナル交響楽団の定期演奏会でマーラー交響曲第1番「巨人」、プロコフィエフ「ロメオとジュリエット」等を指揮し好評を得、指揮者としてのプロデビューを飾る。KBS TV「京の響」に出演。93年ロシア、マリエル国立歌劇場より招待を受け、ヴェルディ「椿姫」を指揮、オペラデビューとなる。95年にはマリエル国立歌劇場でプッチーニ「蝶々夫人」を満員札止め状況で指揮。また同年キエフバレエの本拠地、キエフ国立シェフチェンコ歌劇場に客演。チャイコフスキーの交響曲第6番「悲愴」等を指揮、ウクライナ全国に放送され絶賛を博した。96年には、再びキエフを訪れ、国立フィルハーモニーを客演指揮。ベートーヴェン交響曲第2番の演奏に対し好評を得る。97年にはラフマニノフの交響曲第2番をCDに録音、発表し、好評を得る。98年には独・ヴュルツブルク市より招待され、同志社交響楽団とともに渡独。ミュンヘン・ヘラクレスザールとヴュルツブルク国立音大ホールにおいてチャイコフスキー交響曲第5番、シューベルト交響曲第5番等を演奏。両公演とも大成功をおさめ、特にヴュルツブルクでは、満場のスタンディングオベーションで幕を閉じた。日本国内では現在までに、京都市交響楽団、大阪市音楽団をはじめとし、多くのオーケストラを指揮している。

指揮法を伊吹新一、田中良和、遠藤雅古の各氏に師事。現在、青山音楽賞評議員。



●ピアノ独奏
大畑 博貴

Piano : Hiroki Ohata

京都市立堀川高校音楽科(現京都市立音楽高校)を経て、京都市立芸術大学音楽学部を卒業。

'93年、'96年のリサイタル開催をはじめ、カワイクラシックサロンコンサート、真声会大阪支部プロムナードコンサート、ジョイントリサイタル等の他、'90~'94にクリスマスチャリティーコンサートを堀川高校出身の5名と開催。ソロの演奏活動以外にも、協奏曲や歌曲の伴奏、アンサンブルで幅広く活躍している。

園田高弘、古川五巳、田隅靖子、故吉田輝子、田中美鈴の各氏に師事。現在、京都市立音楽高等学校教諭。

同志社女子大学学芸学部音楽学科声楽専攻卒業。ハンブルク国立音楽大学オルガン科卒。鴛瀨紹子氏、ハインツ・ヴンダーリヒ氏等に師事。

ハンブルク、京都でのリサイタルをはじめ、オムロン・デライト・コンサート(京都コンサートホール)、市民のためのオルガンコンサート(宝塚ベガホール)、ポーランドのクラコフ夏期オルガン連続演奏会(聖マリア教会)などで演奏する。また昨年より、オルガンのコンサートシリーズを、日本キリスト教団京都教会で行なっている。ソロ活動の他に、通奏低音奏者、伴奏者として多くのカンタータ、ミサ曲等の演奏会に出演。室内楽やオーケストラとの共演も多い。

現在、同志社女子中高、女子大学、国際中高並びに日本キリスト教団京都教会オルガニスト。日本オルガニスト協会会員。



●オルガン
中山 幾美子

Organ : Kimiko Nakayama

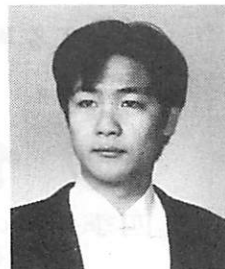
●練習指揮
高谷 光信

堀川高校音楽科（現・京都市立音楽高校）を経て、現在、大阪音楽大学音楽学部在籍。大学入学と同時に指揮者を志す。

1996年、ロシア・マリエル国立歌劇場首席指揮者V. ブラソロフ氏より指揮のレッスンを受ける。1997年4月、大阪音大カレッジオペラハウス公演 広上淳一指揮 歌劇「トスカ」にアシスタントとして参加。また、同大学学生選抜オペラ 松尾昌美指揮 歌劇「フィガロの結婚」に指揮スタッフとして参加。

1998年、京都フィロムジカ管弦楽団の春コンサートでベートーヴェン交響曲第7番を客演指揮し、成功を収める。

現在、子供の音楽教室弦楽合奏講座指揮者、京都府厚生年金基金合唱団指揮者を務める。指揮を伊吹新一、田中良和、蔵野雅彦、V. ブラソロフに師事。



●弦トレーナー
田畑 佳子

福岡女学院音楽科、京都市立芸術大学卒業。

1990～1992 福岡青少年オーケストラ コンサートマスター

1996 グリーンユースオーケストラ コンサートマスター

1998 三重パッサ合奏団 2nd Violin 首席奏者

をそれぞれつとめる。

1998 西日本出身新人紹介演奏会出場 テレビ西日本賞受賞。

●木管トレーナー
岸 さやか

京都市立芸術大学音楽学部卒業。卒業演奏会に出演。ヤマハ管楽器新人演奏会に出演。第1回、3回浜松管楽器アカデミーにて、宮本文昭、I. ゴリツキー氏のレッスンを受講。

オーボエを城石賢明、宮崎勇の両氏に師事。

●金管トレーナー
山崎 雅夫

京都大学卒業後、同大学、奈良女子大学オーケストラ等、20年来、金管打楽器トレーナーを務め、吹奏楽団の指揮や指導も行う。トランペットをC. マクベス、M. アンドレ、A. ハーセス各氏に師事。現在、京都大学交響楽団金管・打楽器トレーナー。

1. 味覚極楽研究会主宰……食べることと酒がすき。イギリスにてスコッチの蒸留所を訪ね歩き、美味探求の名の下にドンチャン騒ぎをしている。

2. ラッパがすき……金管楽器の枠にとらわれず様々な音楽家と交流。音楽を文化背景から理解させ、それを技術向上へと発展させる指導を行う。

こういった幅の広さは音楽的土壌をいっそう豊かにし、団員は大きな信頼を寄せている。

京名菓 き飽た

創業天保二年



長久堂

四季折々の京菓子和
お抹茶でお寛ぎ下さい。

販売10:00~19:00/茶房11:00~18:00

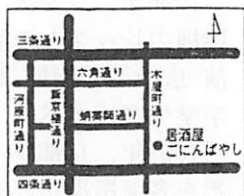
●コンサートホールより北へ徒歩8分
北山店・北区上賀茂畔勝町 ☎(075)712-4405

■定休日/火曜

居酒屋
こじんばやし



PM5:00~深夜12:00
(土・祝日前~AM2:00)



中・木屋町四条上ル

☎(075)221-3517

嵯峨店

右京区嵯峨新宮町二
☎八八一-一九三〇

北山店

左京区下鴨南芝町四
☎七九一-四五三〇

祇園店

東山区祇園町北側
☎五六一-三三五〇

そば
権兵衛

ゆったりのんびりくつろげます



湯楽荘

観光に・仕事に・学生さんの合宿にどうぞ
近くに市の体育館・競技場・テニスコートあり
夏は庭で炭火バーベキューを
楽しんでいただけます

亀岡市稗田野町柿花吉岡32 京都交通柿花バス停近く

☎(0771)22-1030(代)

短期留学 (4週間~)

ワーキングホリデー



The Language Project

Toronto, Canada

少人数で楽しく学ぶ、居住型英語学校

資料請求(日本)Tel. 0595-65-6313

Violin Shop

VIOLIN VIOLA CELLO & BOW 販売・製作・修理・調整

渡辺弦楽器工房

京都市中京区高倉夷川上ル福庭町728-4 〒604 ☎075-211-0116
西宮市大井出町7-23 〒662 ☎0798-70-2006
FAX0798-70-2009

和洋生花鉢物専門

あなたが選ぶ花店株式会社 桂花園

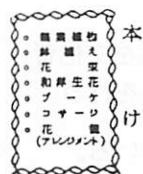
けいかえん

店:京都市西京区川島玉頭町41

電話(075)392-4587(代)

けいかえん売店:京都市西京区川島調子町94-12-3

電話(075)392-8730



印刷のことなら何でもおまかせ

大地社

〒602 京都市上京区河原町通荒神口上ル二筋目東入ル

TEL (075) 231-1727

FAX (075) 256-4604

フィロムジカの名のもとに

指揮者 藏野 雅彦

僕にとって、苦手な質問というのがいくつかあって、そのひとつが「一番好きな作曲家は？」である。僕は必ず「モーツァルトです」と答える。実は、次の演奏会で指揮する作曲家を好きだと思っている事が多い。つまり、ころころ変わる。さらに本音を言えば、耳元で最も多く鳴るのはジョン・レノンだし、そう答えたい気持ちもある。しかしモーツァルトは僕にとって、天の高みに輝く音楽で、憧れである。神様に対する気持ちと似ていて、この複雑な「好き」は言葉では説明できない。今日はそのモーツァルトの「ドン・ジョバンニ」で開幕。死の場面で始まり終わるこの歌劇の序曲は、レクイエムと同じ二短調で衝撃的に始まる。たった30小節で悲劇が象徴的に語られ、次の一瞬で突如重い空気が消え失せ、細かな弦の刻みに乗って蠱惑的な旋律が滑り出し、子供のように弾み、喜劇の面白さを予感させる。音を決して濁らせずそれを語れるか？この曲が僕とフィロムジカにとって最大の挑戦であることは言うまでもない。（最近の僕はツェルリーナに女性の本当の恐ろしさを感じている。）

大畑氏がソリストに決まって、さあ誰のコンチェルトにするかと、一緒にコーヒーを飲んでいたら、偶然風のようにプーランクが流れ、彼が「これにしよう！」と言い一瞬で決まった。一目惚れ状態である。僕は、彼が弾くドビュッシーが好きだったが、彼が弾くプーランクを聞きたくて堪らなくなった。打合わせ練習では、次々に溢れ出るメロディーに色をつけ、練習というより絵描遊びの感覚で、二人で楽しんだ。ただ、耳に心地よいこの曲は聞くのと演奏するのでは大違い！オケは技術的に相当苦勞しているはずである。

僕とフィロムジカの出会いは、数年前客演の依頼で代表者が家に来た時だ。学生オケではなく一般のオケだと聞いていたのに、意外にも高校生のようなかわいいお嬢さん達がやって来た。客演が決まり合宿に参加した時、彼らの野望即ち「京都コンサートホールでオルガン付をやる」を知った。あれから今日まで彼らとは音楽的に、また運営面で厳しく接してきた。オケとして成長しななんとかサン＝サーンスができるまでにしたいと思ったからだ。プログラムの最後を飾るこの曲、構築の確かさとフランスのエスプリが絶妙のハーモニーを醸し出す「オルガン付」を、どこまで、理想の演奏に近づける事ができるか？創団間もない若いオーケストラが、一つの交響曲演奏に夢を託し、友と語り合い、泣き、笑い、悩み、彼らは今日ついにそのステージに立っている。これは音楽を愛する者の理想的な姿である。願わくば、今日の演奏が一人でも多くの人たちに感動をあたえられますように！

演奏家のための

ミツマの直輸入弦楽器

直輸入でいいものを安く。
修理・調整もお任せください。

Violin Viola Cello

弦
特価

インターネットで音楽情報を！【クラシック音楽情報センター】<http://www.musicinfo.com/>

(株)ミツマ・ミュージックプロダクツ 京都・三条京阪駅前 Tel. (075)761-1213

ニューヨーク・フィルハーモニックにオーケストラマネージメントを勉強しにいった時、マネージャーのカールが私に一冊の本をくれた。その本の中で彼はオーケストラのことを次のように描写している。
"It's a family...One thing brings them together." フィロムジカにとって、この one thing とはなんだろう、と考える。フィロムジカを生み出すべく動き始めてから、3年以上の月日が流れた。3年前にはなかったものが、今は、在る。なんだか、不思議だ。もうすでに、フィロムジカというオーケストラが体温を持って、さも自然にここにいる。フィロのみんなと出会えてよかった、と心から思う。フィロを介して知った素晴らしいものに、感謝する。今日までいろんなことがあった。満足より、悔しいとか悲しいとか、そういった感情のほうをたくさん経験してきた。しかし、地道な途上で、小さな喜びをみんなていくつも味わって来れた。今はわかる。そんな小さな喜びの集積は悔しさや落ち込みよりも遥かに大きなものであったということ。そして、ついにこの日を迎えた。楽しもう、初めて満足しよう。今日はフィロのみんなのことをいつもよりもっと誇りに思うだろう。今夜は飲もうよ。明日はゆっくりしよう。そしてあさってから、新しく動き始めよう。この舞台を超えた自信を持って。この舞台を仲間と共に味わい、何か強いものを加えたフィロムジカで。「あの坂を越えると海が見える。」と書いた詩人がいた。「あの空は、海へとつづくあさぎ色、もうすぐ海が見える。」今までもこれからも、道には勾配がついていて、今までもこれからも、悩み失敗し、そして、フィロムジカはつづいていくのだ。オーケストラは生き物だ。個性溢れるベクトルが四方八方に伸び、それぞれの音楽の愛しかたを内包するがゆえ、難しい生き物。しかし、音楽が好き、という共通点がでっかくひとつあって、それをいつも心に留めることで、夢が明らかになる。

マエストロは Adagio で天を仰ぐだろうか。音楽家、ここにあり。これほどまでフィロムジカに厳しい愛情を持って接して下さった人はいない。すべての団員が、心から感謝している。マエストロ・ソリスト・フィロムジカが Concert Pitch、最高の極みで演奏することを祈る。ゆっくり、放熱しよう。私達の音楽を、伝えることができるだろうか？ パイプオルガンが響く。そこからあたりで、神様がニヤリと笑っているような気がした。

小林香の紹介。

彼女にはオーラがあります。強いです。まわりにはいたら感電しそうなイキオイです。口調はコミカルです。どうも「ば行」が好きらしく意味もなく「ばびー」とか言ってますね、時々。しかし真剣に話をするときは一転、語尾まではっきりと言いつ切る話し方になり、えっらく主張してるような感じもしますが実はかなり「気い使い」です。

彼女には今にも結晶化して目に見えてくるのではないかと思えるような信念があります。問題の処理能力が抜群です。彼女が総理大臣になったらニホンも好景気になるでしょう。でも彼女はニホンの総理大臣なんかに興味はないに違いない。彼女は理想と創造を求めて世界に向けてダッシュしてます。今日もまた。(ふみさん)



対談：「無知ほどこわいものはない、無知ほど強いものはない」

ふ：「ご来場下さいました皆様こんにちは。来てくださってほんとうにありがとうございます。コンサートミストレスの‘いのうえふみ’と申します。ヴァイオリンを弾く以外には大学生をやっております。」

こ：「続きまして、団長のこばやしがおくりです。このページでは、フィロの今までのことを皆さんにお話したいと思います。」

ふ：「さてこの3年ほどのあいだに色々面白いことがありました。私達はオーケストラというものに対してほんとに無知でしたね。」

こ：「そうですね…。無知ほど強いものはないですね、まったく。」

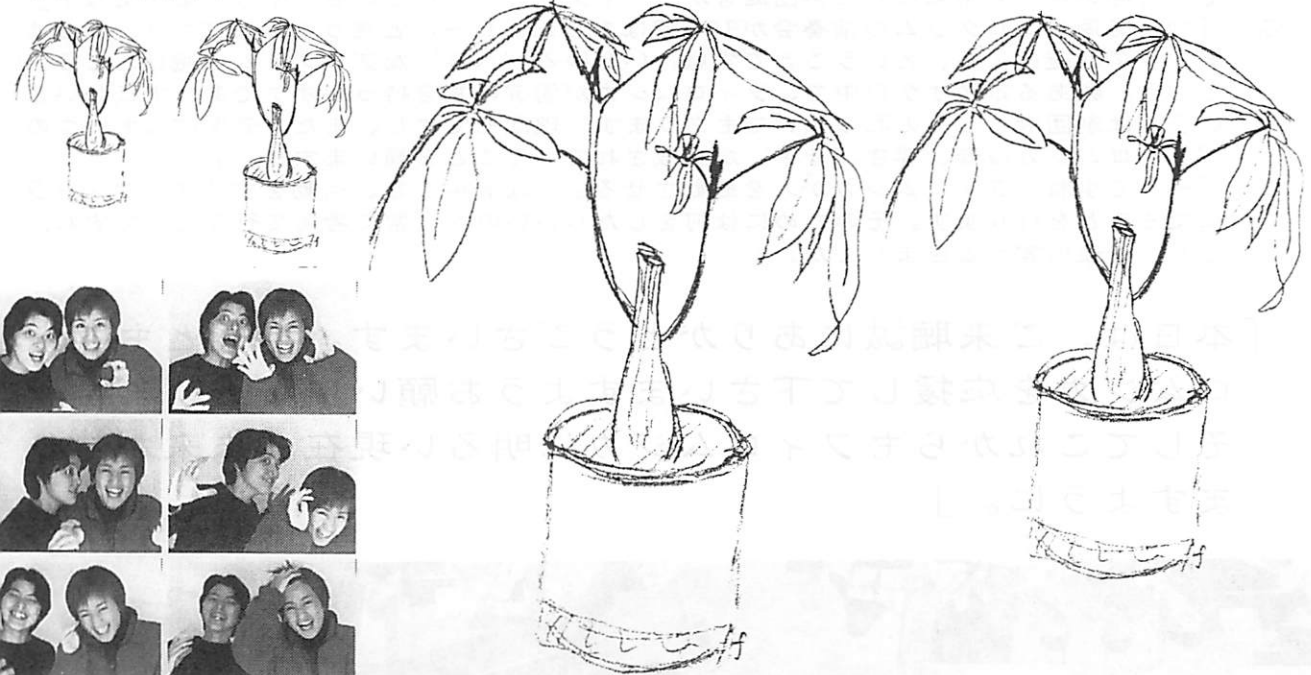
ふ：「あ、こんなことがありました。あれは第2回演奏会の客演指揮を藏野先生にお願いしに行った時のことです。当時お金がなかった（今もないけど）私達でしたが、会計だったTさんが先生に‘私達はお金がないんです…勉強してください’と言ったのは感動つづいて爆笑ものでしたね。今思うと冷や汗が出ますね。」

フィロムジカについて

コンサートミストレス 井上 史

フィロムジカという種子があり、高校のオーケストラ部の後輩であったこばやんこと団長小林香が私と一緒に育ててみませんか、と言ってくれました。約3年前のことです。私にはそれが種子であることもよくわかりませんでした。そういうと初めはその種子には名前もなく、はっきりした形すらなかったのです。

種子をまず水に浸し土に埋めたのは彼女と私でしたが、根を出し芽を出しコンサートの舞台上で光を浴び、多くの人に水と栄養を与えられ世話されて成長してきたのは、その種子自身でした。今どれくらいの大きさなのでしょう？



井上史の紹介。

幼少時の“火の鳥”に顔が似ている。ナマケモノの絵を描かせたら天下一品。車好き。思い返せば彼女の初一人運転に同乗したのは私だった。フィロの仕事のためにくねくね道を走ることがあって、二人して恐怖で叫んだ。私の戦友！彼女の武器は、バイオリン。彼女のバイオリンと音楽に対する深い思いは、私の迷いを消し、一貫していた。創団者として彼女が“静”の役目を負えば、私は“動”を負ったが、静はいつも動を凌駕し、導いたのだった。「フィロムジカ」とは彼女が名づけた。愛すべき人物。（こばやん）

こ：「（爆笑）そうでしたねえ、なんと強い！藏野先生とは第2回定演で共演させていただきましたが、その時のソリストの藤井先生もユニークな方でしたね。素晴らしい人で、終演後みんなでウルトラマンの人形を5体ばかりプレゼントしました。たしか、ウルトラマンギガモちゃんが入ってたはず！」

ふ：「そうでしたね。人形を求めて新京極のおもちゃ屋さんを回りましたねえ。藤井先生にはアランフェス協奏曲の2楽章で泣かせていただきました。穏やかで熱い、そして親しみやすい素晴らしい方でしたね。藏野先生との出会いはフィロムジカにとって大きいものでしたよね。」

こ：「フィロムジカと先生の間には歴史は生半可なものじゃないですね。真剣勝負ですよ。音楽面、事務面で愛の鞭をいただきました。」

ふ：「先生の音楽に向かわれる真摯な姿勢には打たれますし、やる気にさせられますね。魅せられるというか乗せられるというか。」

こ：「コンサートホールでオルガン付きをやるというのは創団時からの目標で、それを藏野先生に振っていただけるのは光栄です。フィロは二年ごとにでっかい演奏会をやるというサイクルで回っていて、演奏会一回ごとに音楽的な目標を変えるということを経ずに、二年でひとつの大きな流れと目標をもって活動しています。それは、音楽を勉強していく上で大切なことではないでしょうか？」

ふ：「今回の演奏会で第1サイクルがとりあえず終了、ということになります。今回はフランスものをやるということで、あえて今までロシアものはやらずに来ましたね。これからはどうなっていくのでしょうか。特徴的なこととして、フィロムジカは楽団の個性をとて大切にしていると思えますが。」

こ：「楽団の個性を言葉にして伝えるのは難しいし、誤解の危険性をはらみますが敢えていうと、斬新なプログラムビルディング、つまり、アヴァンギャルドさにこだわること、そして若い世代を中心にした楽団運営がコンセプトです。珍しい曲、やっていますよね？」

ふ：「今まで同じプログラムの演奏会が300回はあったよねー、と思うようなプログラムビルディングは避けよう、ということですね。いわゆる‘ベタ’なプログラムは避けよう、という。数ある市民オケの中で、フィロムジカが固有の色を持ったオケであってほしいというのは創団者としての私の願いでもあります。理念もですし、また、音楽的にも一つの‘フィロムジカの音、響き、音楽’が生成されていくことを願いますね。」

こ：「そうですね。フィロムジカが人を感動させるような音楽をし、活動をするオーケストラになることを祈ります。そのためには何をしたらいいのか、常に考えて行きたいですね。じゃ、最後に言っときましょか。」

「今日は、ご来聴誠にありがとうございます。今後ともフィロムジカを応援して下さいますようお願い申し上げます。そしてこれからもフィロムジカに明るい現在と未来がありますように。」



ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ 修理・調整・製作・輸入・販売

イチイヒロキ violin workshop

ヴァイオリニスト&製作者として、イタリア生活9年の経験が、あなたの演奏をお手伝いします。注3割引。満往、胸、糸巻きなど軽微な調整はその場で無料にてしております。お気軽にお越しください。

- ◆ 出町店 〒602 京都市上京区寺町通今出川上ル表町31
- ◆ Tel & Fax: 075-251-0724 携帯電話: 030-628-0863
- ◆ e-mail: fontana@x.age.ne.jp http://www.age.ne.jp/x/fontana/



京都府知事登録第6号

日本教育旅行

京都市下京区烏丸七条上ル一筋目東入

0120-040566

合宿・ゼミ旅行・スキー・海外旅行 etc
お気軽にご相談ください

Italian, French & German
STRINGS and BOWS
and other kinds of musical instruments



Americaya
KYOTO SINCE 1945



アメリカヤ楽器店

〒603 京都市北区地下鉄北大路駅前
TEL 075(441)2341 FAX 075(414)0010

< 音楽教室のご案内 >

ヴァイオリン (ヴィオラ) 親チェロ親ハープ親ほかを修理しております。
お気軽にご相談下さい。

合宿・研修に、ぜひどうぞ!!

びわ湖 千鳥荘

滋賀県滋賀郡志賀町南浜 403
Tel/Fax (077) 594-0035



For School, Business or Pleasure
ア・ブ・ク・ド・イングリッシュ スクール
小学生から大人迄の英語専門教室

〒607 地下鉄 東西線 御陵駅 下車
徒歩 3分 協和荘301~302
TEL + FAX 075-593-4426



御袈裟、絡子のお仕立に

京都、日吉町 吉野隆
TEL 0771(73)0193

安達消化器科内科医院

京都市左京区下鴨東本町 DEMI-RAKUHOKU
☎(075) 712-5558



俗世の愁い漂うモーツァルト
俗と聖の同居するブルーランク
聖なる折りの響きサンサーンス
その中で人間の内なる声を演ずる
クラシックの音にご注目 遠藤

私はこの日を
待っていた!!
気分よく!
Mr. 藤原
Tp 木下(左)

頑張ろう

Mr. 藤原
ホケル. ケータイ
にしたら奴は死刑

音楽. 木下(左)
「1」の「木下(左)」
Fg. 木下(左)

新会者「おかし」
石原引りますので
宜しくお願いします
Vn. 中島

オルガンには
負けないぞ
(Hr) 木下(左)

今回は
おフランス
です。
Vn. 坂本

楽しんで
演奏しますのだ
今日はまた
いけてるぞー
がんばりますぞー
Tp. 木下(左)

頑張ります
Tuba. 坪内

頑張ります
Vc 菊地

気合入れて
いこ
(Tb) 石原

今回はよろしく
お願い致します
Tb 青木

頑張ります。
聴いてください
(Hr) 木下(左)

今の自分にできる
一番いい演奏か
できる様 精進
して居ります。
Vn. 中島

頑張ります
Vn. 中島

11月の楽にか
知らぬ因
買った2000
円

人権
音楽と著作権
よくお願いします。
の試用



Qu'est-ce que
vous faites?
Je joue du
Violon, Takutaro

“どんな音も。” “だいぎき!”
T. Matsumura
島山

本番は楽し。
気合基本Eは
はじめるわ

音楽という快楽を
皆様と共有できる
ように
Vn. 木下(左)

Philomusica
= Love Music
さん、その通り。
でもそれ以上に、プロの
仲間のことと想う。
コバ

大学生生活最後のバイオリンを
オルガンで締めくくってよかった。
Vn. 村山 義尚
愛かなければ無に等しい。
Ft. 政岡
まだまたやりす
かたばります。
Fl. 遠見

お客様も演奏者も
みんなが楽しめる
演奏を願うぞ!!
Vn. 舞台
五十嵐



☆皆様が
柄上りひびき
遍にせすおに。
Va. 谷口

☆がんばりますよ。
かたばりますけど
でも... たれかたばり
Cb. 吉本

合奏中
音はずしても
しん顔
Hr. 長岡

緊張するのぼあ?
Va. 木下(左)

オルガンが演奏者も
持(い)ば
これ下から
音着です。
Vn. 上田

おせらす、走らす。
ゆっくりと...
Vn. 小橋

スロでの初舞台
頑張ります、よろしく。
Va. 上橋

楽しんで演奏!
Vla. 植木

女性皆さん、礼服安の僕
「おん」
Vc. 木下(左)

Philo デビュー & 久々の
舞台です。ウキウキ
Vn. うらら

ずっと憧れていた
オーケストラの舞台に
なりました。大感謝
Vn. 荒川奈央子

ご準備おかげ
です!! Vc. 木下(左)

さすはヤマトの諸
Vc. 木下(左)

私たちのウインド
を聴いて下さい。
Hr 木下(左)

一弓入魂
by F. Oyagi (Vn.)
音楽を喜び!
Vn. 吉野

Philomusica Violin.
Vn. 中島

初めての
E.H.です。
ヨコフ. 野岡

「おん」
Hr 吉野
オルガンで
Vc 中村

打つとや頑張ります
Vc. 中村

